

月刊
JMITU

セガ



4月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2023年発行

No.460

2023年春闘

夏季一時金回答

セガ・SLS団体交渉が行われ以下の回答がありました。

セガ回答

基本給テーブル改定による賃金引き上げ額(平均)

42000円

ステージ変更による賃金改定

昇給平均 5769円

合計 47769円

実施日は7月1日

夏季一時金

係数 2.75

平均一時金額(一般社員)

660052円

支給日は

6月16日(金)予定

その他の要求には応じられない。
い。

1、家賃補助手当と家族手当の廃止および時間外労働割増賃金率の変更を実施し、それぞれ6500円、4500円、6000円を調整手当として支給する。ただし、変更時に上記金額以上の家賃補助手当または家族手当を支給されている場合は当該金額を調整手当として支給するものとする。

2、退職金制度の変更を実施し、ライフプラン手当として前払いでの受給が選択により可能となる新たな退職金制度を導入する。ライフプラン手当を選択した場合の受給額は月額平均33795円となる。

セガについては今回の制度変更にて、昇給が7月になり今までのような4月に遡及しての支給はなくなりです。
会社として今の制度では、昇給

という概念がなくなっているの
で、過去の年功序列型のよう
に毎年給料が上がっていくとい
う事はなくなりました。

組合「新制度での家族手当等無
くし調整給に織り込んだもの
はず」と支給されるのか。「
会社「基本給の資格から昇格を
しない限りは支給され続ける。
昇格をした場合は基本給に吸
収される。」

組合「吸収されるという事は基
本給に上乗せされて吸収され
るのか。」

会社「上乗せされるわけではな
く、昇格すればその調整手当
より賃金上がるのでその中
に盛り込まれるという事です。
管理職に家族手当等がないの
も報酬に盛り込まれているか
らです。」

組合「昇格して下がるような場
合もあるがその時はどうする

のか。」

会社「当然昇格したのに賃金が
下がるようなことはしないよ
うに調整する。いろいろな例が
あるので調整の仕方については
説明できない。」

今回のセガの回答は、マス
コミの報道で先に情報だけが走
り、本場にそんなに上がるの？
数字のマジック？詐欺ではな
いかという話もありましたが、
セガとしては、いまだかつて
ないぐらいの賃上げ、私たちの
要求に近い形で回答が出まし
た。

また正社員だけでなく、契
約社員やアルバイトに対して
も額は少ないですが賃上げを
行うなど、組合としても今回の
回答については評価したいと
思います。

SLS回答

一般社員平均

本給昇給

741円

評価給昇給

2593円

全社員一律ベア

2000円

合計

5334円

昇給率

1.52%

夏季一時金係数

2.5 (昨年より0.5UP)

平均一時金額

879815円

一時金支給日

6月16日(金)予定

その他の要求には応じられない。アルバイトの時給アップ、一時金支給についても今のところ考えていない。

BP達成が濃厚なためインセンティブを5月に支給見込み
SLSについては、セガと同様に賃金制度を変更すると期待しましたが、会社としては今

のよう考えていない。会社の規模が違うので、セガのような制度は導入できない。という回答でした。その中でも夏季一時金係数が2.5は、二二〇〇数年ではなかった回答です。

SLSは新人事制度導入してから大きな変更をしていない為、一般職のほとんどが資格の上限に達してしまい、評価級による賃上げは、ほぼない人たちがかりで、年々昇給額が減ってきています。昨年もそうですが全社員一律のベアでどうにか調整をしている状態です。この制度の行き詰まりを感じます。



第94回メーデー
2023年

5.1月

開場 9:00~

文化行事 9:30~

開会 10:00~

バレーD 11:20~

代々木公園

●JR「原宿駅」下車
●小田急線「代々木八幡駅」下車
●東京メトロ「代々木公園駅」「明治神宮前駅」下車

みんなで行こうよ! 第94回メーデー

今年のメーデーは4年ぶりの通常開催となります。東京都の会場使用基準やコロナ感染基準に則り、会場内での水分補給用の水、お茶を除き、飲食は禁止とします。

ご理解とご協力をお願いします。



いい加減な話

仙洞田一彦

ああでもない、こうでもない、と、ぼやいているときは、知らず知らずのうちに自問自答しているかもしれない。

昨夜は久しぶりに夜遅かった。駅を降りていつも使うバス乗り場の方を見ると、行き先表示のところに赤い枠線があるバスが動き始めていた。

あつ、最終バスだ。そう思った時にバスはもう、

道路の中央に寄っていた。家まで歩くしかない。タクシーなどここ数十年使ったことがない。それはさいわいかもしれない。自分の足が動くということだ。しかし、なあ。自分の足もだんだん言うことを聞

かなくなっている。

そう思いながら、遠ざかるバスを見送っていた。これもさいわいかもしれないのは、雨が降っていないことだ。傘をさして歩くのはつらい。さいわい気温も暑からず、寒からず。

体が言うことを聞かなくなると、なんにでも「さいわい」とくつつけたくなる。そうして自分を励ましている。なんでもなければ、いちいち「さいわい」なんて付けなくても体が動く。

昨夜は仕方がないから歩いた。そして今日、原稿の締め切りがある。テレビニュースでは連休の始まりの日、海外へ、国内観光地へ出かける様子が早くも映し出される。連休の初日に原稿の締め切りだ

からねえ——といっても、原稿の締め切りがなくても出かけるところはない。

しかし、歳だから、昨夜晚いというだけで疲れがある。飲んだから余計に疲れる。疲れがあるとひらめかない。疲れがなくてもひらめかないのが実情だが、ひらめかないのを疲れのせいになりたい。

グチグチといい加減なことを言っているうちに、いい加減な話が浮かんだ。

昔、日中戦争があった。「十五年戦争」とも言われている。

「一五年にわたる侵略戦争を通じて、日本国家はその相手側に巨大な加害をおよぼした。ここでは人的なそれに限らざるをえないが、その最大の被害者は中国であり、……(略)

……盧溝橋事件以降の中国軍

民の傷亡は二二二六万余人、

そのうち死者は九〇六万二千余人に達したとされ、さらに盧溝橋事件五〇周年の一九八七年には死者二〇〇〇万人以上という数字が発表された」

「一方、この戦争を通じて日本国民も大きな被害をこうむった。その犠牲者数は軍人・軍属約二三〇万人、外地で死亡した民間人約三〇万人、内地の戦災死者約五〇万人、計約三一〇万人(うち日中戦争死没者一八万九〇〇〇人)にのぼった。」そうだ。

私の父は生きて帰って来たので、ここに挙げた死者数には入っていない。

他に、こんな対談も見つかった。

殿下 当時中央部に不拡大と

いふ方針はあつたでせう——併し所謂長期に亘る戦指導といふものはなかつたのですか。

下村 ございませんでした。

それをやらなくちやならぬと思ひながらも到々出来なかつたのであります。

十一月初めか十月の終りにはやらにやならんと思つて居りましたが、その時は忙しくてそれをやる事が出来ませんでした。

第一部の考へでは其の中に支那がポキッと折れるだらうと考へて居りましたし、又、第二部あたりでも第一部と同じやうに直ぐに手を挙げて折れて出て来る位の考へでやって居りまして、上海を陥しませて南京へ行く前に手を挙げて来るだらう……之が丁度其の時期だらう位に誰も考へて

居つたのであります。それで長期に亘る戦指導方針と云ふものの必要を考へて居られた人も一、二はあつたやうですが、大体そんなものを必要とする気が起らなかつたといふのが真実であります。

これは「下村定大将回想応答録」の一部で、「殿下」は「竹田宮恒徳王」という人らしい。その人の質問に下村大将が答えている。

「上海を陥しませて南京へ行く前に」とある。年表には「一九三七年八月一三日第二次上海事変。同一二月一三日南京占領、大虐殺事件」とあるので、その頃のことを指すのだろうか。

侵略そのものも許せない。さらに長期の戦指導方針が

ないのもひどいが、「大体そんなものを必要とする気が起らなかつたといふのが真実であります」という言い方はなん

なんだらうか。前線では兵が生死をかけているというのに。

私の父はその時期の二年後召集「一九三九年八月一日上海港到着」となっている。

前に挙げた対話の中で下村大将は殿下に「支那がポキッと折れるだらうと考へて居りましたし」と言っている。「支

那」は「中国」のこと。中国の力を侮っていたのだらう。「ポキッと折れるだらう」どころではなく、上海についた後、その後の軍歴によると、父は中国の執拗なゲリラ攻撃にさらされ、死と隣り合わせに置かれていた可能性もある。銃撃戦なら人を殺していた可能

性もある。父はとつくに亡くなっているの、聞きようもないが。

大将の命令で、どのくらいの兵が動くのだらうか。いや実際に戦っていた。兵だつて人間。敵兵も人間……そんなことを書くのさえ馬鹿らしくなるが。

ひらめかず、何を書いたらいいのかぼやいているうちに、いい加減な話を思い出した。

(参考資料『現代史資料9 日中戦争(二)』・江口圭一著『十五年戦争小史(新版)』)